着段新聞をあれずに続けいって、新聞記看の仕事について詳して知りません。 1つの記事で大きく世界から変やる事を をいる最い機会では、1つの記事で大きく世界から変やる事を をりまたかは来かけび、昔からの新聞を通して情報を得ることも 大切りんたと見いました。情報を得る際にも、その情報が本当た正しい のかを判断する力が必要にわってくるので、まずいろんなり精別に概 中、興味や関いを持っという事を売れず、といからの行なで 変まないくよで大なりまる見つりたいと思います。

新聞記者の仕事とは」(読売新聞姫路支局 早川保夫様)の講演を聞いて

1つの年月間を作るのに、夕夕くの時間と手間をかけていると聞いて、必要は人子が想像以上の数で衝撃的でした。12回も転動されたと聞いて、柳動が沢山ある殿業だということを知りました。また、建報が出たらるぐに取材に行って記事を書くというのはとても大変だと感じたし、朝刊は深夜などに働かなければいけないので、新聞記者は不規則は生活をしているのかなと思いました。

秋は、今日の講演を聞いて、2人のて記事を書くことは本当 に大変なのだけて思いすした。1編すでいなと思ったのは ノーベル賞や災害、ミイラほどですごまは種類の記事を書 いてのられたていうことです。ほどほら、理繁でもほいし、物理 や化学をあまりのからはいとかっしゃ、ていたのにすでい量の 文章量で記事を書いていたからです。ためで、新聞記者と いう仕事は、たくさんの知識を必要とし、取録したことを簡 深にまるのて、なったからでもれかとした変な仕事にて思いました。

新聞記者の仕事とは」(読売新聞姫路支局 早川保夫様)の講演を聞いて

新聞を読む、とは太切り、ことでと改めて感じました。かりの新聞の記事でを含まい変わるということにとても驚きました。また、ネットニュースにいている情報源が新聞のものもあるということを聞いて、新聞のもっかりまたいなと感じました。1日や数十分で考し記事もあればかれか目もまいりて書くらのもあることを知り、読してみたいなと思いました。前までは新聞を読してまりしていたけれと、最近日読していませとでした。新聞には手件のことやスポーツ、大化のことりと、いろいろな情報のでくましあるのでしたりと読して、自分もの種柄について考えられるよりにしたいでいる。

新聞記者の仕事とは」(読売新聞姫路支局 早川保夫様)の講演を聞いて

早川さんに見せていただいた記事全てが実践、深いものはかりでした。これまで早川さんは、事件と事故を専門に書いたり、医療を専門に書いたり、て様々の物野を担当されたと聞いて、書く記事の大まかな内容が、決まっていることもあるんだと思いました。

歴史についての記事かとくに面合くて、新聞によって社会に大きな影響をおよぼすことかであるのだと感じました。

新聞記者の仕事とは」(読売新聞姫路支局 早川保夫様)の講演を聞いて

普段新聞はあまり読まないけど自分が興味のある内容について見て みたとき、それに関する内容がわかりやすくまとめられていて、何ページも文 字がびっしり書いてあって毎日これを書いている人がいると思うととても 大変だと思いました。より正確な情報を1公えるために海りとで情報 収集をしている人もいて総勢で、1000人以上の人が1日の新聞を つくっていることにびっくりしました。 1つの新聞をつくるのに 物くの入棚橋あっていて、読む入棚読みやすい もうに、興味を持ってもらえるようにとたくさんの工夫がいされているということ を知れた。かさな記事/フでも何目もかけていて、例との苦労かいされている ので見かときはかんと目を通してみようと思いました。新聞をつくるのにも いろんな話題があるから 部かいてくもにも分けられて、それに特をしてい るということを初めて知った。見出しに伝えたい内容をすとめて、短く表し ているのは、読んでいてとても分かりやすいので、今後、したらトなとをつくる ときに役立てれると思った。

新聞記者の仕事とは」(読売新聞姫路支局 早川保夫様)の講演を聞いて

今まで新聞は、読み手が海鐵を増やしたり楽しんだりするのかと
思っていたけど、こうや。て作る人も例が下歴ませが現在のこととかの
知識を深めてたり楽しさがある人だと思いました。
新聞記者とか難しいことがある人だと思いました。
理条料母がひこないと難しいことがある人にと思いました。
また、作日でもえたの子が小しりして「たしい行事にと思いました。

僕はこの仕事につくことがないかもしれないし、新聞は神師なので この仕事でしてにれかんで尊称して、りしても新聞を読みをいました。